

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを実現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。

今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集（2023年2月号）を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

- ・フレキシブル、電子ペーパー、三次元、無機/有機 EL、電界放出、プラズマ、投射型、液晶などを用いたディスプレイ技術
- ・携帯用、テレビ用、デジタルサイネージ用、高臨場感用などのディスプレイシステム
- ・電子ディスプレイの基礎となる科学・技術全般
- ・ディスプレイ用材料及び部品（タッチパネル等の入力デバイスを含む）
- ・ディスプレイ作製方法、パネル製造・量産装置、測定装置、検査装置
- ・ディスプレイシステムの駆動回路、画像処理技術
- ・ディスプレイに関わる評価技術、人間工学、応用システム

2. 論文の執筆と取扱い

- ・本小特集では、ペーパーとブリーフペーパーの種別のみ受け付けます。ペーパーは原則として刷り上がり8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします。執筆の詳細については、Information for Authors: https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html を御参照下さい。
- ・一般の会議 Proceedings と比べて頁数制限が緩和されています。より一般的な研究者を対象として、詳細な記述になるよう御配慮下さい。
- ・本小特集では原著論文のみ受け付けますので、それを踏まえて原稿作成をお願い致します。（レビュー論文やサーベイ論文は受け付けません）。
- ・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・本小特集への論文投稿については、下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

本小特集では論文の電子投稿を行います。https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-DI] Electronic Displays を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

4. 問合せ先

神原誠之（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科）
Tel [0743] 72-5331, E-mail: kanbara@is.naist.jp

5. 論文投稿締切日 2022年2月28日（月） 厳守

6. 小特集編集委員会

編集委員長 山口雅浩（東工大）
編集幹事 神原誠之（奈良先端大）、水崎真伸（シャープ）
編集委員 石原朋幸（ジャパンディスプレイ）、萱野良樹（電通大）、木村 睦（龍谷大）、小南裕子（静岡大）、志賀智一（電通大）、伊達宗和（NTT）、辻 博史（NHK）、山口留美子（秋田大）

7. 重要なお知らせ

- ・Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。
- ・招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2022年7月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2022年8月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- ・採録となった論文は、掲載料が支払われた後すみやかにオンライン上で公開されます。詳細は https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_es.html#8 を御覧下さい。
- ・ペーパー：30件以上、ブリーフペーパー15件以上の Reference が必須となります。（https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_es.html#3-7）
- ・投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。
- ・入会の案内は、https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html を御覧下さい。